

2026年6月2日
フォーデイズ株式会社

フォーデイズ

「酸化タンパク質修復剤、及び酸化タンパク質の修復を介した酸化ストレス抑制剤」

特許取得のお知らせ

核酸*1 栄養の健康食品および化粧品を販売するフォーデイズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：和田佳子）は、この度「酸化タンパク質修復剤、及び酸化タンパク質の修復を介した酸化ストレス抑制剤」について、特許を取得しましたことをお知らせいたします。

【特許番号】第7857645号

【発明の名称】酸化タンパク質修復剤、及び酸化タンパク質の修復を介した酸化ストレス抑制剤

【特許権者】フォーデイズ株式会社

【発明者】フォーデイズ株式会社 須藤 慶太、藤田 美華

【出願日】令和7年5月26日(2025.5.26)

【登録日】令和8年4月30日(2026.4.30)

【発明の概要】

加齢の要因の一つとして、生体内で発生する活性酸素により、DNAやタンパク質が酸化ダメージを受け、細胞機能が低下する「酸化ストレス」が知られています。なかでも、タンパク質を構成するアミノ酸である「メチオニン」は特に酸化を受けやすく、タンパク質内の酸化型メチオニンの蓄積は、老化に伴う細胞機能低下への関与が示唆されています。

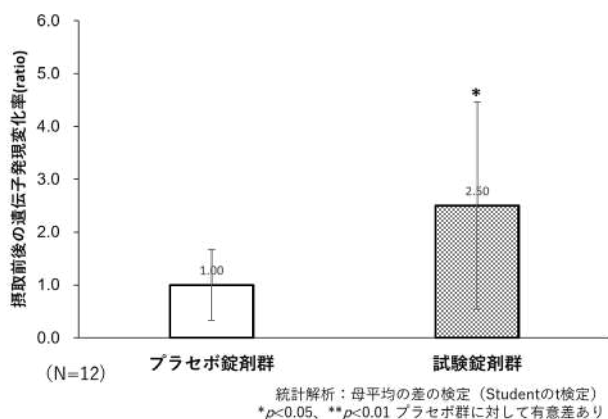
サケ白子抽出物は、低分子核酸やタンパク質分解物を含有します。本発明では、ヒト試験において、サケ白子抽出物を含む錠剤を8週間摂取した群で、メチオニンシルホキシドレダクターゼA (MSRA) などの酸化メチオニン修復酵素遺伝子（以下、酸化メチオニン修復酵素 MSRA 遺伝子）発現量の増加（図1）とともに、血液中 d-ROMs（酸化ストレス度）の低下が確認されました（図2）。

これらの結果から、サケ白子抽出物摂取による酸化ストレス低減作用には、酸化されたタンパク質の修復機構が関与する可能性を見出しました。

当社は今後も、健康維持・増進に寄与する核酸栄養の研究に取り組んでまいります。



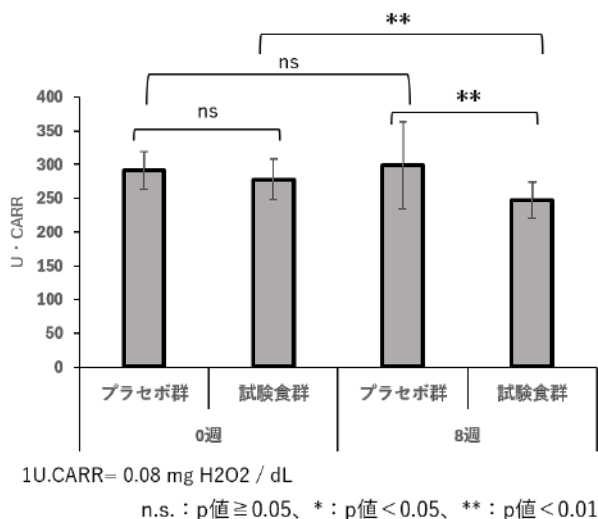
(図 1) ヒトの酸化メチオニン修復酵素 MSRA 遺伝子発現解析



サケ白子抽出物摂取により、酸化メチオニン修復酵素 MSRA 遺伝子発現量が有意に増加

遺伝子発現解析の結果、サケ白子抽出物摂取群（試験錠剤群）では、プラセボ錠剤群と比較して酸化メチオニン修復酵素 MSRA 遺伝子の発現量の増加が確認された。

(図 2) 8 週間の臨床試験における酸化ストレス値 (d-ROMs) の変化



サケ白子抽出物摂取による酸化ストレス軽減に酸化タンパク質修復機構の関与を示唆

d-ROMs は、活性酸素による代謝産物であるヒドロペルオキシドを測定することにより、生体内の酸化ストレス度の状態を評価する手法である。臨床試験の結果、サケ白子抽出物摂取群（試験錠剤群）では8週間後に血中酸化ストレス値 (d-ROMs) が有意に低下し、プラセボ群との比較においても有意差が確認された。

【フォーデイズ 会社概要】

会社名：フォーデイズ株式会社 所在地：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 6-7

代表者：和田佳子 創業：1997年4月 資本金：4,500万円 売上：308億円 (2025年3月期)

企業情報：主力製品の核酸ドリンク「ナチュラル DNカラーゲン」は、人の細胞の中に存在し健康と若さに役立つといわれる栄養素「核酸」に注目し、1999年12月に販売を開始。これまでの累計販売本数は7,200万本*2を超えています。ネットワークビジネス業界において、国内では第4位*3の売上規模となっており、核酸栄養のリーディングカンパニーとして、健康食品と化粧品市場を牽引中。 <https://www.fordays.jp/>

*1 遺伝情報は細胞の核内に存在する DNA に書き込まれており、その情報を RNA が写し取ってさまざまなタンパク質を生成しています。DNA は、核内にある酸性の物質として発見されたことから、DNA と RNA は「核酸」と呼ばれています。

*2 販売開始から 2025 年 3 月度までのシリーズ累計販売本数 (当社調べ)

*3 ネットワークビジネス業界 国内ランキング 1 位. 日本アムウェイ 2 位. 三基商事 3 位. ノエビア 4 位. フォーデイズ
出典：「ネットワークビジネス」2025 年 10 月号より抜粋

<本件に関するお問い合わせ先>

フォーデイズ株式会社 TEL：03-5643-0761 (直通)

広報課：熊本、藤井

Mail：kumamoto@fordays.jp m.fujii@fordays.jp